

きもの豆知識

夏の履物について

1年中履ける素材も経済的で魅力的ですが、せっかくなら夏に似合う素材を使うのも着物の魅力の一つです。

鎌倉彫

彫りと塗りをあわせて作り出される鎌倉彫。素朴な柄が人気の定番アイテムです。



網代

古い網代を使い一つ一つ個性の違う風合いが魅力です。



ラフィア

フィリピンやマダガスカルに自生するラフィア椰子の繊維を編みこんだ見た目に涼しげなアイテムです。



畳表

素足で吐いても気持ちいい肌触り。カラスと呼ばれる濃い色目のものもあり、シンプルな台と鼻緒の組み合わせで個性的な見た目に。



パナマ

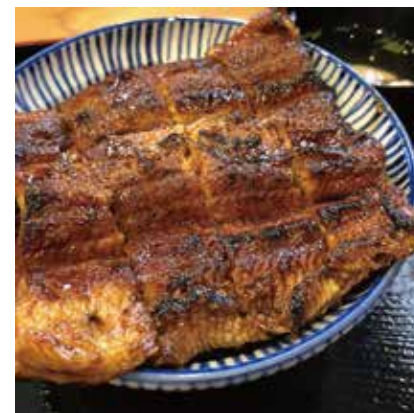
夏のあこがれの素材の高峰。とれる年ごとに出来不出来があるので、きれいなものに会うのも奇跡かも。



あそびの玉手箱

7月の後半には毎年土用の丑の日があり、この日は鰻を食べるのが伝統的な行事として日本人に定着しています。余談ですが、私は40歳過ぎるまで全く鰻を食べることが出来ず、唯一の苦手な食べ物だったのですが、何がきっかけか覚えていないのですが、いつの間にか食べられるようになってしまったところか、今や一番好きな食べ物になってしまいました。家族からは食べれなかった方が、経済的でよかったと言われている今日この頃です。

土用の丑のどのようなとは、1年のうち不連続な4つの期間、四立（立夏・立秋・立冬・立春）の直前約18日間で、その中の丑の日を『土用の丑』といいます。この土用の丑の日に鰻を食べる習慣は、江戸時代の蘭学者の平賀源内が知人の鰻屋のために『本日、土用の丑の日』と書いて店頭に張り紙をしたところ、大盛況を博したのが起源といわれています。梅雨も終わり体調をくずしやすいこの時期、鰻を食べて、体調管理に努めていきたいですね。



～レンタルギャラリー～

趣きある和の空間に作品を展示してみませんか？

趣のある和の空間で、作品を飾ってみませんか？個人の作品から、趣味の教室（お花、写真、書道、絵画、手芸など）の作品展など、文化・芸術を育む場を提供したいという思いから、竹次郎カフェを開催の日程（毎月5日間）に限り、レンタルギャラリーとしてお使い頂けます。

レンタル期間：竹次郎カフェ開催日（毎月5日間）
料 金：1500円（5日間）

※カフェ開催日は事前にお問合せ下さい。

☎ 0563-35-0039 大橋まで

竹次郎～ TAKEJIRO CAFE ～ コラム



昨年よりかき氷は氷を鈴鹿山ろくの天然水を使った氷に変更しました。溶けにくく滑らかな口当たりが特徴です。まだの方は是非試してみてください。

イベント案内

ギャラリーカフェ

夏物バーゲン

7月17日（土）～29日（月）

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

7月22日（木）～29日（月）

歌舞伎のススメ

～雷神不動北山桜 毛抜（けぬき）の段～

7月に歌舞伎座で『雷神不動北山桜』が上演されます。『雷神不動北山桜』は『毛抜』『鳴神』『不動』という段に分かれていてそれぞれ単独で上演されることも多いのですが、あらずじは平安時代の帝の跡継ぎ問題のお話。跡継ぎに恵まれない天皇は、鳴神上人にお堂の建立を条件に祈禱をお願いします。するとすぐに跡継ぎが出来喜んでいますが約束を守らないため、怒った鳴神上人が竜神を封印してしまい大干ばつが起きます。困った朝廷は、雨ごいをするために、雨ごいに必要な短冊を持っている小野家に依頼します。しかしながらその短冊は八剣玄蕃（やつるぎ げんぱ）に盗まれており、八剣玄蕃はこのことをネタに責任を問い詰めたり、小野家の姫の婚礼の破談を企て大騒動になります。ここからのストーリーが『毛抜』の段の内容になります。姫の婚約者の使者、桑寺弾正（くめでら だんじょう）によりこの玄蕃の悪だくみが暴かれてしまい、短冊も小野家に無事もどることとなりました。しかし、短冊は戻ったものの、鳴神上人の念は強く、相変わらず大干ばつは続いており、ついに朝廷は鳴神上人を攻略する方法を考えます。ここからは、『鳴神』の内容になります。『鳴神』の内容については、また後日どこかで取り上げればと思っておりますが、この一連の物語は、私の特に好きな物語です。市川家が制定した歌舞伎十八番の一つで、市川團十郎襲名の際はどこかで上演されるかもしれませんので、その時は是非ともご覧下さい。

